佐久市議会だより

ギカイの窓

2018年（平成30年）2月1日　No.51

特集　佐久市地域おこし協力隊 × 市議会

トピックス

3月9日 議場コンサート

17名の議員が市政を問います　一般質問

佐久市手話言語条例を制定しました

表紙

仲良し姉妹の七五三

撮影 滝澤 さや香さん

場所 望月　大伴神社

特集

佐久市地域おこし協力隊 × 市議会

首都圏などから来られた、８人の地域おこし協力隊の皆様が活躍しています。
佐久市を選んだ動機や、来てからの感想などを聞かせていただきました。

”佐久市は良いところがいっぱい“ 市民が自覚し誇りを持つことで魅力発信力になりますね。

佐久市を選んだ動機は？

・移住案内や地域おこし協力隊のフェアで知りました。
・佐久市が積極的に取り組んでいる姿勢を感じました。
・応募に関して他地域ほど課題の制約がなく、自分の目的に取り組むことができると感じました。
・好きな山がある信州で仕事に取り組むことができることや、農業振興、地域ブランディング、ＣＣＲＣ等の取り組みがしやすいと思いました。（複数）
・佐久市にある伝統的食材を使って地域おこしに貢献できると思いました。

来てからの感想は？

・商業施設や公共施設などがそろっており、皆さん都会的な生活をしていると感じます。
・自家用車があれば広範囲に行動できるので、それほど不便を感じません。
・自然が豊かで景色が素晴らしいですね。佐久市に来て良かったと思います。
・地域医療が進んでいることは知っていましたが、来てみて更に実感しています。健康に対する意識が高いと思います。
・環境が良く自分のスキルが生かせていると思います。

地域おこし協力隊のフェイスブックを運営発信しています。
詳しくは「佐久市地域おこし協力隊」を検索ください。

—議会も含めて提言など聞かせてください—

・落ち着いて生活できることはうれしいことですが、市が更に成長するために社会全体として切磋琢磨する環境が必要と考えます。

・地元の人材が首都圏など他地域に流れない環境やシステムも必要だと思います。

・商業面では一つの方法として地域通貨などあれば地域循環になるのではないでしょうか。

・他市町村まで行かなくても欲しいものが得られる個性的な店が欲しいですね。

・山間地に住んでも交通面、施設面で子育てしやすい環境整備を願っています。

・空き家バンクの売物件でもお試し居住ができると移住しやすいと思います。

・おいしい農産物や伝統的食材があり自然も豊かで、夜空もきれい。都会的な面と田舎的な面もあり、生活しやすいと感じます。

市民の皆様が自覚と誇りを持つことで更に魅力が増し、移住促進の発信力になるのではないでしょうか。

平成29年
12月定例会

平成29年12月定例会を11月28日から12月22日までの25日間の会期で開き、条例改正や平成29年度補正予算など31件、意見書案２件を承認及び可決しました。

平成29年12月定例会　議案審議結果

議案番号	議事内容・議案名	結果
108	専決処分の報告について	◎
109	佐久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
110	佐久市職員の自己啓発等休業に関する条例及び佐久市職員の大学院等派遣研修費用の償還に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎
111	佐久広域連合規約の変更について	◎
112	佐久市佐久情報センターの指定管理者の指定について	◎
113	北口同和対策集会所の指定管理者の指定について	◎
114	荒田同和対策集会所の指定管理者の指定について	◎
115	浅科保健センターの指定管理者の指定について	◎
116	中込共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
117	佐久の泉共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
118	ワークハウス牧及び望月ひまわり共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
119	浅科ふれあいホームの指定管理者の指定について	◎
120	臼田共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
121	岩村田共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
122	野沢共同作業センターの指定管理者の指定について	◎
123	佐久市特別養護老人ホームシルバーランドきしのの指定管理者の指定について	◎
124	佐久中部地区農村環境改善センターの指定管理者の指定について	◎
125	市道の路線認定について	◎
126	平尾山公園の指定管理者の指定について	◎
127	駒場公園の指定管理者の指定について	◎
128	榛名平公園の指定管理者の指定について	◎
129	改良住宅、特定公共賃貸住宅及びその他の住宅の指定管理者の指定について	◎
130	望月麦・大豆等生産振興センター及び望月農産物加工処理室の指定管理者の指定について	◎
131	平成29年度佐久市一般会計補正予算（第６号）について	◎
132	平成29年度佐久市一般会計補正予算（第７号）について	◎
133	平成29年度佐久市介護保険特別会計補正予算（第１号）について	◎
134	平成29年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建設（盛土スタンド、ブルペン、管理機械倉庫）工事請負契約について	◎
135	平成29年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建設（グラウンド）工事請負契約について	◎
136	平成29年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建設（防球ネット）工事請負契約について	◎
137	平成29年度佐久市一般会計補正予算（第８号）について	◎
138	佐久市手話言語条例の制定について	◎
意見書案第7号	長野家庭裁判所佐久支部において、調査官の常駐、少年審判の取扱い及び庁舎の建替えを求める意見書	◎
意見書案第8号	「保育士配置基準の見直し」と「公定価格の増額」を求める意見書	◎

【結果の表示】 ◎ 全会一致で可決･承認　○ 賛成多数で可決･承認

平成29年12月定例会　賛否一覧

会派名	新政ネット												新緑会						公明党			日本共産党			無所属	
議員名 / 議案等番号　議案等略名	中條壽一	市川稔宣	市川将	小林貴幸	神津正	大井岳夫	関本功	柳澤潔	吉川友子	土屋俊重	大塚雄一	清水秀三郎	吉岡徹	三石義文	井出浩司	土屋啓子	高柳博行	塩川浩志	和嶋美和子	江本信彦	小林歳春	内藤祐子	小林松子	柳澤眞生	竹花美幸	議決結果
陳情第7号　米軍輸送機CV22（空軍)・MV22（海兵隊）両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	■	不採択
陳情第8号　日本政府に国連「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	■	■	■	■	■	■	■	■	○	■	■	■	○	○	○	○	○	○	■	■	■	○	○	○	■	不採択

※「○」は賛成 「■」は反対 「退」は退席 「欠」は欠席　議長（高橋良衛）は採決に加わりません。

平成29年12月定例会　請願・陳情等状況一覧

番　号	請願・陳情者	請願・陳情要旨	結　果
平成29年 陳情第６号	佐久市岩村田3162-13 りんどう会 会長　村上　裕史	受動喫煙防止対策を進めるために健康増進法の改正を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
平成29年 陳情第７号	佐久市三河田557-29 ピースアクション佐久 代表　望月　清泰	米軍輸送機ＣＶ22（空軍）・ＭＶ22（海兵隊）両オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の陳情	不採択
平成29年 陳情第８号	佐久市臼田197 佐久総合病院組合事務室 原水爆禁止佐久地区協議会 理事長　望月　清泰　外１団体	日本政府に国連「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	不採択
平成29年 陳情第９号	佐久市協和4194 大谷地区自治会 会長　岩間　眞二	太陽光発電施設建設に関する陳情	継続審査
平成29年 陳情第10号	岡谷市長地権現町二丁目８番30号 ひまわり保育園内 長野県民間保育園経営研究懇話会 会長　森　　裕	「保育士の配置基準の見直し」と「公定価格の増額」を求める国への意見書提出に関する陳情	採択

3月9日 議場コンサート

市では、毎年「３月９日」を「佐久市民の日」とし、市と市民が一体となって佐久市の魅力を発見し、愛着と誇りを抱き、更なる発展を期すため、各種の記念事業を実施しています。

佐久市議会では、これにあわせて、議会をより身近に感じていただくため、昨年同様、議場コンサートを開催します。入場無料となっておりますので、皆さん、ご都合をつけてお越しください。

日時　３月９日㈮ 午後１時30分～

場所　佐久市議会議場

内容　マリンバ奏者　横山晴子さん 他

昨年の議場コンサートの様子

※議場コンサートは、毎年、大変混雑するため、約80席のうち今回は50席分を予約席としました。

- ●申込期間　２月26日㈪～３月２日㈮
- ●時　　間　午前８時30分～午後５時15分まで
- ●申込方法　予約は電話のみ　１人２席まで

なお、予約されない方は、立ち見もしくは入場できないこともありますのでご承知ください。

事前申込連絡先：0267－62－3495

常任委員会審査報告

指定管理者の指定、予算案等可決　陳情2件は不採択

総務文教委員会　委員長　関本　功

・佐久情報センターの指定管理者の指定、佐久市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定、補正予算を原案可決。
・米軍輸送機オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の陳情は不採択。

◆こんな質問や意見が出ました

Q　情報センターには大きなスクリーンがあることから、全国高校駅伝のパブリックビューイング等、指定管理者任せではなく、担当課からの助言が必要ではないか。

A　次年度以降、検討していきます。

◆オスプレイの飛行訓練に反対し、飛行中止を求める意見書提出の陳情について

採択　オスプレイの安全性等が確保できるまでは、飛行すべきでない。

不採択　オスプレイは災害時にも活躍できると聞いており、また世界情勢を考えると現時点では意見書の提出はすべきではない。

太陽光発電施設建設に関する陳情を継続審査

経済建設委員会　委員長　中條　壽一

市道認定、平尾山公園その他の指定管理者の指定について、平成29年度総合交付金総合運動公園整備事業野球場建設関連について原案可決。

◆陳情審査でこんな意見が出ました

・既存施設についての指導は、法の不遡及の原則から対応が難しい。
・もうこれ以上、作ってもらいたくないという趣旨であり、既に測量をやっている業者もいるということで、早期の条例改正を望んでいる。
・既に条例等により対応しているところではあるが、課題もあるため、市としても研究しているとのことなので、市の今後の方針や状況を見定める必要がある。

太陽光発電施設建設予定地現地調査

補正予算2件事件案11件を可決　新規陳情1件を採択

社会委員会　委員長　三石　義文

事件案11件は来年度からの「指定管理者の指定」に関わる審査。
新規陳情は「保育士の配置基準の見直し」と「公定価格の増額」を求める国への意見書提出に関する陳情。

◆こんな審査状況でした

障がい者支援施設・中込共同作業センター・野沢共同作業センター・臼田共同作業センター・浅科ふれあいホーム・ワークハウス牧・望月共同作業センター・岩村田共同作業センターを指定管理者指定の議案審査のため、視察を行いました。いずれの作業所も工賃アップに取り組んでいました。

委員会での審査で「市内商工団体と連携し、工賃アップにつながる仕事を」と要望が出されました。

中込共同作業センターの様子

一般質問

●一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で編集しております。ご不明な点は、議員にお尋ねください。また正式な記録は会議録でご覧ください。

●佐久ケーブルテレビやインターネットによる動画配信を行っていますので是非ご覧ください。

動画配信　QRコード

ひとくちメモ

一般質問とは

議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告、説明を求め又は疑問を質すことをいう。

リースでの防犯灯LED化・発達支援センター整備について・市の業務革新について

江本（えもと）　信彦（のぶひこ）

◆LED防犯灯整備について

Q　LED防犯灯について、リース方式による整備を提言してきたが、市の考えを伺う。

A　過日、公表した実施計画における「佐久市防犯灯LED化事業」は、リース方式による防犯灯のLED化を一括整備しようとするものである。

◆療育支援体制について

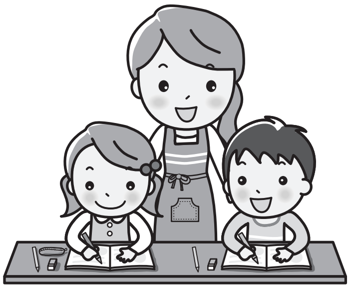
Q　発達支援センターの設置については、一貫して提言をしてきた。市の療育支援体制の今後の取り組みについて伺う。

A　法改正により、市町村での「児童発達支援センター」整備の必要性が示された。療育支援センターを運営してきた中で、発達を支援する施設としてのニーズの高さや、今後支援を必要とする児童数が増えることが予想される為、「児童発達支援センター」整備を含めた市の療育支援体制のあり方を検討していく。

◆佐久市の業務革新について

Q　人は改善や改革の必要性に気づいていても、実行に移すことは難しいと考える。職員の意識改革をどのように行うのか。

A　業務革新は、市全体に及ぶもの、職員が日常的に改善を積み上げるものまで、幅が広い。職員が改善する意識を高め、日常業務に取組む部署からの提案により、規模の大きな革新が実現するように、引き続き研修などを実施し、職員の業務改革に対する意識の醸成を図っていく。



身近な場所で受けられる
療育支援体制の構築

太陽光発電設置は地域との協議を！
ニーズに沿った女性の就業支援を！

吉川（よしかわ）　友子（ともこ）

◆太陽光パネル設置について

Q 市内各所で多くの太陽光パネルが設置されているが、水害や除草剤による被害、廃棄などの責任の所在について、景観自然環境についてなどたくさんの懸念の声を聞く。他市ではガイドランを制定し指導しているが、佐久市としての課題と対策は。

A 既存の条例や要綱に従い指導しているが、市民からの不安の声もある。地域と調和した再生可能エネルギーの適切な導入が図られるよう検討している。

◆給食食材について

Q 佐久市産食材の使用率は。

A 保育園では10％、小中学校では野菜などの食材で25％。

Q 血管疾患などに影響するトランス脂肪酸を含む食材使用は。

A 保育園では月1回程度のおやつと業者からのパン。小中学校では年に3回程度と業者からのパン。マーガリンは極力使用しないよう配慮している。

Q 砂糖と人工甘味料の使用は。

A 砂糖は文科省の摂取目標量以内、人工甘味料は不使用。

◆女性の就業起業支援について

Q 育児中の継続的な就労支援や育成は大変重要と考えるが、佐久市の関わりは。

A 県の事業で女性就労支援員がいる。市では場所を提供し、周知に協力している。

Q 起業を希望する女性も多いが、今後の支援策は。

A 充分に情報収集したい。

豊かな緑に囲まれた土地へ移住してきたが…

「高齢者等生活実態調査」からの施策
健康遊具の設置増加について

小林（こばやし）　歳春（としはる）

Q 「高齢者等生活実態調査」の内容をどのように施策に反映するのか。

A アンケート調査から「して欲しい支援」と「出来る支援の内容は、「急病など緊急時の手助け」「外出の際の移動手段」「災害時の手助け」「買い物」「雪かき」などでほぼ同様。元気な高齢者と、支援が必要な高齢者がお互いに助け合い暮らせる仕組み作りが必要。「お達者応援団育成塾」の充実、「市民活動サポートセンター」においても、「地域リーダーの育成」や、「地域の支え合い組織づくり」に取り組む。「地域共生社会」の実現に向けた高齢者支援施策の展開をしていく。

Q 健康遊具設置については。

A 市民交流広場、高柳公園、五稜郭公園に11種類14基設置済。現在整備中の一本柳公園に3基設置予定。今後、快適健康都市の具現化に資する方策のひとつとして考える。

Q 市営住宅の入居と家賃滞納の現状と対策について。

A 滞納人数177名、滞納額約3千393万円。家賃納入が確認できない方には、督促状、戸別訪問、電話連絡等により徴収、解消困難の場合は法的措置。

Q 家賃滞納者の連帯保証人への対応について。

A 連帯保証人は債務者と同様の義務を負う事から、滞納の解消についても対応を求める。

健康遊具利用案内看板

北方領土返還要求署名活動・佐久市の民泊・市内児童館などについて

しみずひでさぶろう
清水秀三郎

Q 日露通好条約が結ばれた2月7日の北方領土の日に先駆けて、毎年11月頃に返還要求の署名活動が行われるが、北方領土問題に対する市長の所見、市職員の取り組み、市民への働きかけについて。

A 市長・一日も早い問題解決を望む。市職員の署名数は職員、家族含めて昨年2千30名。市民への働きかけは、北方領土返還要求長野県民会議と連携していく。

Q 県は民泊新法の施行に備え、民泊営業日数を制限する条例案を2月定例会に提出するが、市は、市内の宿泊施設の利用状況を把握しているのか。県条例に関する市への調査に対する回答。今後、各業界から意見聴取する場を設けるか。

A 佐久市の宿泊者数は38万8千800人。県の調査には回答していないが、生活環境悪化が認められれば規制は必要であり今後、市民や各業界の意見聴取をする。

Q Jアラート発信時の保育園、小中学校への対応について。

A 児童の安全確保が第一であり、災害発生の恐れがある場合には的確に判断していく。教育委員会から校長会へ指示済。出前講座開催等で対応する。

佐久市の児童館

国保について・県立武道館について・障害児支援について

ないとう ゆうこ
内藤 祐子

◆国保について

Q 来年度からの制度改革に伴い、県への納付額も1月には最終決定となる。現行より提示額が低い場合、また、今年度黒字決算でもあり、一人1万円の国保税値下げはできないか。

A 県の試算は現状を反映していると言えず、単年度収支ではなく、中長期的視点で検討。

◆県立武道館について

Q 佐久市の負担額が12億5千万円という事だが、創錬の森の敷地の面積、取得額はいくらか。

A 創錬センター含む5万1千㎡を17億2千万円で取得。面積は3万6千㎡。

Q 3千人規模可能とのコンサートはどのようなものを想定しているか。

A 多目的利用は多くの期待。大賀ホールの様ではない。北信越大会規模の武道館である。

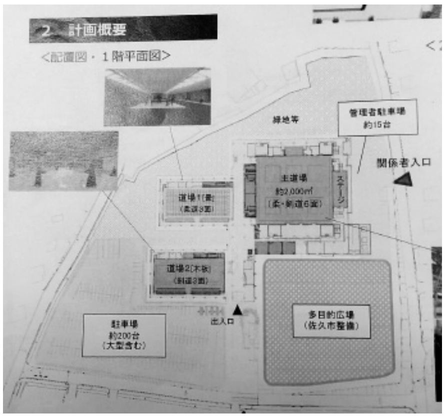
Q 特に文化分野の市民の意見をどう聞いていくのか。

A 県と調整しながら、説明していく。

◆療育支援センターについて

Q 報道にあるように、需要に応えきれないのが現状。児童発達支援センター新設含め、ニーズにどう応えるか。

A 発達障害への理解が進み、現在79名の登録者。地域の社会資源の充実が必要であり、今後の整備を含めた在り方を検討していく。



資料県立武道館　図面

浅科支所の整備について
耕作放棄地の有効活用について

高柳（たかやなぎ）　博行（ひろゆき）

Q 施設の形態および機能について。

A 浅科支所、浅科会館、浅科福祉センターの老朽化を考慮する中で、佐久市公共施設等総合計画に基づき3施設の機能を集約し複合施設として、現浅科支所庁舎に建設する予定。総合支所の機能を維持し浅科地区の生涯学習活動の拠点施設として検討していく。

Q スケジュールは。

A 年内に区長や公民館運営委員、施設利用者等で組織する検討委員会を設立し、来年1月中旬に第1回検討委員会を開催し、これまでの経過をご説明の上、協議をしていただく。その後1月下旬から2月下旬頃に、地元住民説明会を開催し、事業についてのご意見をいただく予定。

Q 耕作放棄地の現状について。

A 昨年度の調査結果では、荒廃農地は、市全域で1千778ha存在し、経営耕地面積に対する割合は約32％となっている。

Q 耕作放棄地関連補助事業の実施状況について。

A 国の交付金につきましては、制度が始まった平成21年度から昨年度までの8年間の累計で、解消面積は、約22ha。交付金は、3千50万円。市の補助金については、制度が始まった平成26年度から3年間で解消面積約6ha、補助金は80万円。

◆その他の質問項目
・子どもの海外交流事業について

佐久市役所浅科支所

佐久平駅南地区の開発・工業団地の整備・無居住家屋対策について

関本（せきもと）　功（いさお）

Q 佐久平駅南地区の開発においての佐久市の関わりについて。

A 樋橋地区まちづくり推進委員会による市民意見が反映された意見を取り入れながら、市が必要とする公共施設整備を土地区画整理事業と併せ実施する。特に市が施行する事業は、周辺一帯の交通環境から地域を結ぶ交通ネットワークとなる道路や広場を予定している。

Q 佐久臼田IC周辺の新工業団地整備にあたり、新工業団地造成にかかるスケジュールはどうか。

A 今年度中には事業に対する基本合意を頂き、農振除外の県及び国との協議に入りたい。農振除外・農地転用の手続きに概ね一年程度を見込み、その後用地買収に係る交渉や契約、開発行為の許可などの手続きを平成32年度の早期に完了したい。

Q 無居住家屋の実態調査において明らかになった、空き家の現状と課題はどうか。

A 空き家の実態調査の結果「空き家と推定される建物」は3千103軒でこのうち、約630軒を「大規模な修繕や除去等が必要」と思われる建物と判定したほか、約600軒を「第三者に危険を与える可能性のある建物」と判定。課題としては、相続をしたものの長期間放置された空き家が多い、また、空き家が存在する要因は「改修・除去費用の捻出が困難」であること。

佐久平駅南地区

佐久市で実施している「がん検診」の取り組み状況について

土屋（つちや） 啓子（ひろこ）

Q 現在実施している「がん検診」特に3倍に増加しているといわれる大腸がんの検診状況に対する取り組みについて。

A 現在6種類のがん検診を実施している。若い時から受診してもらえる様、レントゲンに関しては、40歳から35歳に引き下げる体制を整える。

Q 大腸がん検診の受診状況の推移はどの様か。

A 28年度に関しては、対象者2.5%、受診者8.2%の伸びである。

Q 受診しようという「きっかけ」が重要かと思うが、廃止された無料クーポン券を、罹りやすいとされる「50才限定無料券」として、佐久市独自で復活できないか。

A 「きっかけ」作りは重要であると考えている。特定健診の内、40～75才の節目年齢の無料化を進めているところなので、総合的に検討していく。

Q 検便で精密検査が必要とされた511人の内、172人もの方が精密検査を受けていないが、受診勧奨はどの様に実施しているか。

A 精密検査を促す文書、医療機関紹介等の送付。4ヶ月後に追跡調査を行い、未受診者には受診の有無、理由を確認する為の調査票を送付。1ヶ月後に電話確認等により、受診勧奨を実施している。

◆その他の質問項目

・集合住宅分譲住宅新築の際のゴミ収集場所等について

小中学校教師の超過勤務の軽減を市が補助金支給した企業の雇用は

柳澤（やなぎさわ） 眞生（まさお）

Q 超過勤務が月83時間に達しているとの県教組の調査結果が新聞報道された。これは厚労省の「労災認定の目安とする過労死ライン・月80時間」を上回る深刻な状況にある。市教委はどう受け止めるか。市内の学校の実態はどうか。

A 教員の時間外勤務は過大であると考えている。市内の学校の聞き取り調査した結果は平均で小学校が56時間29分、中学校が78時間33分で80時間を越えた者も何人かいた。

Q 「年間を通して月45時間以下になることを目指す」との県教委の方針だが仕事量縮減等どう具体化するのか。市費による教職員の増員をすべきだ。また1カ月以上の長期療養中の教職員は何人居るのか。またその病状は何か。

A 勤務時間の割振り（超過する分を他の日程で調整）を実施したり、職員会議回数の見直し、部活動の週1回休み、加配の支援教師の配置（現13名）など対策を取り始めている。病欠者は現状7名で精神的疾患が4名、他の病気が3名。

Q 教師の出退勤の管理は。タイムカードを活用すべきでは。

A 各人が勤務時間管理ソフトにて報告している。

◆その他の質問項目

・給料月額の4％が教職調整額としての加算のみで、労基法の時間外勤務割増賃金は適用されていない。

子どもに向合える時間を

自主防災組織について・農政について

土屋　俊重

◆自主防災組織について

Q 自主防災組織と訓練について地域ごとに差があるのでマニュアル整備が必要。

A 各区に組織がある。数区について組織ができていない。訓練は避難訓練から消火訓練まで各区で実施している。

Q 避難所について。

A 災害は洪水・土砂崩れ・噴火・地震がある。避難場所も指定緊急避難所と指定避難所の2種類がある。災害も4種類あるので各避難施設に使用の可否を表記する。また、防災マップも修正する。

Q 避難所開設と運営について。

A 職員災害対応マニュアルにて対応する。

◆農政について

Q 試験圃場の実績・成果と今後の試験栽培はどう考えるか

A カモミール等栽培の他透明マルチ防草シートも実績として有る。今後は数量の安定・省力化に向けて実証実験をしていく。また、ビニールハウスを利用した品目の実証栽培を実施する。

Q 6次産業化について。市内で加工が望ましいが、市内食料品製造事業所と連携できないか。

A ジャム加工所は有るがジュースは自家用としてJAに有る。他は把握していない。食料品製造事業所との連携は生産者とマッチングを図っていきたい。

佐久平駅南土地区画整理事業について　新しい交通体系の試験運行について

小林　松子

Q 大規模開発の結果、中心だけが栄え、周辺部は過疎化にいっそう拍車がかからないか。

A 多くの人を佐久市に呼び込むとともに、そこから市内各所を訪れる好循環を生み出すことが目的。この上で、市内各地で地場産業の振興や地域資源の活用などの施策推進が重要。

Q 佐久平駅南土地区画整理事業計画案で、区画道路が幹線道路に変更されている。総事業費は約60億円に膨らんだがどうしてか。

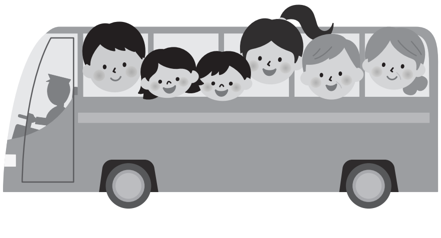
A この道路は、佐久平駅から土地区画整理事業区域内につながるということで、まちづくり推進委員会から整備方針として提言をいただいた。シンボル道路ということで、市が整備する。

Q 本年10月に新しい交通体系の試験運行に移行したが、乗り換えや運賃値上げ、前日予約など問題が寄せられている。この実態をどう思うか。

A 確かにさまざまの意見をいただいている。今後の内容改正等含め検討していく。

Q 市営と民間バスの料金に格差があるが、飯田市などが行っている民間バス事業者への補助を参考にして、民間バスの運賃を下げることはできないか。

A 地域内をまたぐ路線ということもあり、料金設定については課題があると感じている。飯田市の取り組みを検討しているが、現状においては難しい。



市民が使いやすい県立武道館に！
特別支援教育の充実を！

しおかわ　ひろし
塩川　浩志

◆県立武道館について

Q 佐久市の負担12億5千万円という額はどう決まったのか。

A 老朽化した今の市営武道館を同規模で建て替えた場合の事業費を上限として県と協議した。

Q その原資は合併特例債か？

A その予定。

Q 市内団体が使う際の使用料減免や、市の大会の優先利用など、市営武道館を建て替えた場合と同条件で市民が利用できるのか。

A 県にはそうお願いしている。

Q すぐ東にある広い県有地の利用は検討されなかったのか。

A 現在の建設予定地「創練の森」への建設を県に要望してきた。

Q 12億円という巨額の負担をする以上、県に対して主張すべきことはきちんと主張してほしい。

A 伝えることはしっかり伝え、良好な関係を保って協議していく。

◆特別支援教育について

Q 特別支援学級は先生1人で児童を最大8人受け持っているが現実は1対8では厳しい。普通学級の特別支援教育支援員を特別支援学級にも配置できないか。

A 原則は配置していないが、状況に応じて対応している。

Q 「支援員」は専門性の高い仕事で経験の積み重ねが大切。臨職などの「6年雇い止め」の対象から、はずすべきではないか。

A 市民への公平な就職機会の提供のため雇い止めを行っている。経験が大きな助けになるのは支援員に限らない。

県立武道館の完成予想図

佐久平交流センターピアノフルコンへ
児童発達支援センターの早期設置を!!

たけはな　みゆき
竹花　美幸

Q 学校が所有しているピアノの台数と状態はどうか。

A 小学校が61台、中学校が26台。ピアノの状態は、大規模な修繕が必要なものが小学校で1台、中学校で3台。オーバーホールが必要なものが小学校で6台、中学校で10台。診断を行い、更新を計画していく。

Q 学校のピアノが古く、買い換えができないので何とかしてほしいという切実な声をこれまでに頂いた。子ども達の豊かな感性を養うためにもピアノの整備を計画的に進めるべき。今後の整備をどう考えているのか。

A 学校のピアノは様々な状態のものがある。毎年調律を実施し、良好な状態でないものは修理・買い換えを行い、ピアノの整備に努めていく。

Q 佐久平交流センターのピアノの買い換えについて、皆様の大切な税金で購入するとなれば「誰にでも安定した音が提供できる事」が重要な選定基準。どのように選定するのか。

A 今回セミコンからフルコンへ買い換えを計画している。会議を開催し、複数の専門家のご意見をお聞きしていきたい。

Q 療育支援センターの今後について、一貫した支援が可能な児童発達支援センターが必要。今後のあり方をどう考えるか。

A 児童発達支援センター整備を含めた市の療育支援体制のあり方について検討していく。

武論尊氏のふるさと、マラソンのまちとしてのシティプロモーションを！

大井（おおい）　岳夫（たけお）

Q 来年4月に開講する「武論尊100時間漫画塾」に合わせ、北斗の拳のキャラクターを公用車やバス等に使わせていただくことにより、佐久市の新たなシティプロモーションにつなげていくべきではないか。

A 著作権等の課題をクリアする必要はあるが、漫画塾の開講に合わせて佐久市を全国発信できることは大きなチャンス。引き続き武論尊氏、関係各位のご協力をいただく中で、幅広く検討していきたい。

Q 佐久長聖高校駅伝部の活躍も追い風に「マラソンのまち」「駅伝のまち」としての確立を目指し、今こそフルマラソン大会の開催を検討すべきではないか。

A フルマラソン大会開催が実現すると、交流人口の創出や地域活性化、全国に佐久をPRする手段としても大きな期待が持てる。課題整理をしながら、開催に向けて検討していきたい。

Q 県内で開催されている各種駅伝大会を誘致できないか。

A 誘致に向けて折に触れ、関係団体や関係者にPRしていきたい。

Q 既存マラソン大会を見直す考えはあるか。

A 大会それぞれに、開催に至るまでの経緯や、積み重ねてきた実績がある。こうした背景を大切にしながら、フルマラソン大会検討の際には、統合も含めて関係者と協議していきたい。

「道の駅ヘルシーテラス佐久南」の現状と課題および今後の方針について

吉岡（よしおか）　徹（とおる）

Q オープン以降11月末までの総利用者数とその評価は。

A レジ通過の利用者総数は16万5千500人。飲食部門は調理師の不足もあって目標に届いていないが、販売部門は概ね順調だと評価している。

Q 冬場になり生鮮野菜、特に青物の品揃えはどうするのか。

A 出荷農家さんにビニールハウス栽培をお願いしているほかJAのネットワークを通じて揃えていきたい。

Q 加工食品については「佐久市産の物産を中心とする」との方針に反し、当市産のものが極端に少ないのは問題だ。また全国に17ある当市の友好都市のそれぞれの特産物を、特設コーナーを設けて販売したらどうか。

A いずれも今後検討し努力していきたい。

Q 飲食部門、特にレストランには課題が多く見られる。ビュッフェ形式で90分の食べ放題という今のスタイルは対象顧客層にマッチしていないのではないか。ランチタイムに90分は長すぎるし、価格も高すぎる。中高年者と女性をターゲットにしているというなら「上質でおいしいものを適量、適正価格で」というコンセプトでいくべきではないか。また「ほっとぱーく・浅科」とのすみ分けや連携は進んでいるのか。

A 合同イベント等をしているが今後とも進めていく。

ヘルシーテラス佐久南

マイナンバー制度について
小学校休校時の児童館の対応について

和嶋美和子（わじまみわこ）

◆マイナンバーカードを使った子育てワンストップサービスについて

Q 平成29年10月から児童手当、児童扶養手当、また母子保健や保育に関する電子申請ができることになった。忙しい子育て世代にとって、様々な手続きが、役所に行かなくてもいつでも好きな時にパソコンやスマホから申請ができるという大変便利な制度。佐久市はいつから利用できるか。

A 現在佐久市では、申請様式の作成やネットワークシステムの整備を行っており、電子申請が可能となる本格運用を今年度中に開始する予定。

◆台風21号の接近に伴う児童館の休館について

Q 小学校が休校になったので、児童館も休館になったが、児童館は安心して子育てできるための福祉的な役割がある。「条件付きでも、開館してほしい」という市民の声を多く聞いた。市の考えは。

A 今回は、お預かりする児童の安全確保を最も優先されることとした対応。小学校が休校する時は、災害の発生が予想される場合や予期せぬ事案が発生するような場合など。児童館も災害等の発生する恐れがある場合など、児童の安全確保が担保できない場合は臨時休館等の対応を的確に判断し、行う必要があると考える。

佐久平浅間児童館

無電柱化について
県立武道館の建設について

大塚雄一（おおつか ゆういち）

Q 佐久市では、無電柱化を検討しているが、特に、観光地である中山道沿線の望月宿や茂田井合の宿で実施して欲しいという思いがある。市では、無電柱化について、どこの地区で実施する事を考えているのか。また、いつから実施する予定か。

A 市の考え方につきましては、国による財政上の措置の見通しや、技術革新や規制緩和等の動向を見極めつつ、事業化を検討し進める。実施個所の選定も財源確保の見通し等と併せて総合的な見地から判断し、実施時期もその検討の過程で精査して行う。望月宿、茂田井合の宿の街並みは、無電柱化による効果が現れやすい場所の一つだと考えている。

Q 県立武道館の設計がまとまり来年度からいよいよ建設が始まるが、今まで周辺道路はどのように整備されて来たのか。また今後交通渋滞や地元区民の生活道路の確保が懸念されている。今後の道路整備計画については。

A 今まで創錬の森整備構想を策定しこれに併せて、周辺の道路整備も行ってきた今後3千人が集まる規模の施設が建設される運びとなったところから、区や公安委員会、県などの関係者と協議をする中で、道路改良について検討をはじめたところ。

津山市無電柱

行政視察報告

山口県宇部市「国民保護計画・英語教育」
山口県萩市「萩市まちじゅう博物館」
山口県下松市「行財政改革」

総務文教委員会

◆山口県宇部市…「宇部市国民保護計画について」平成17年に危機管理室を設置。平成19年に宇部市国民保護計画を策定。平成29年11月に弾道ミサイルを想定した避難訓練を実施。

「小中学校の英語教育について」平成28年の2学期より小中学校でオンライン英会話を導入。フィリピンセブ島とオンラインで繋ぎ、中学校では3人～4人のグループでタブレット端末にて実施。効果として英検で聞く力が向上。小学校ではデジタル黒板で児童全員が一人の講師と対話を行っている。

◆萩市…「まちじゅう博物館について」まちじゅうに地域の文化遺産が展示・保存されている旧武家屋敷群などの広い博物館＝新しいまちづくりの取り組み。NPO・行政・市民組織が連携しながら、萩のまちの歴史・文化を継承する動きが活発化。NPO萩まちじゅう博物館が市民レベルで推進。萩ものしり博士検定で街角解説員の育成・活躍。ワンコイントラストの活用。

◆下松市…「行財政計画について」昭和51年に財政再建団体になったことから、改革に対する職員や市民の意識が高い。（例）学校給食の調理・配送業務の民間委託。保育園は4園の内2園を民間委託し、今後残り2園も民間委託の方向。先進例を参考に今後の佐久市でも取り組みが必要であると感じた。

まちじゅう博物館にて

鳥取県日南町「道の駅にちなん日野川の郷」
鳥取県三朝町「観光誘客」
岡山県津山市「つやま産業支援センター」

経済建設委員会

◆鳥取県日南町

「カーボン・オフセット」事業を国内で最初に取り入れた同町の道の駅「にちなん日野川の郷」

・**視察目的**…Co^2削減事業の実際を視察し、当市への導入の参考にする。

・**所感**…この事業で昨年は28ｔのCo^2を埋め合わせしたとのこと。当市と同町では自然環境も似通っている。当市の道の駅でも取り組むべきだと思った。

◆鳥取県三朝町

・**視察目的**…年間40万人以上の観光客を誘致している同町の観光事業の実態を視察し、当市の観光振興の参考にする。

・**所感**…この町の賑わいは伝統や観光資源に寄りかからず、行政、観光協会、旅館組合等が一体となって様々な誘客事業を切れ目なく展開してこその成果であることがわかり、大きな刺激になった。

◆岡山県津山市

「つやま産業支援センター」

・**視察目的**…同市が行政主導で行っている企業間連携を中心とする産業支援事業の活動の状況を視察し、当市の産業振興の参考事例とする。

・**所感**…この2年間で100社を超える企業連携を達成し、新製品の開発等すでに多くの成果を挙げていることに感動した。またこうした大きなプロジェクトを推進する際の中心人材の選任がいかに重要かも理解できた。

道の駅「にちなん日野川の郷」

岡山県倉敷市「倉敷市いきいきポイント制度」
香川県高松市「たかまつファミリー・サポート・センター」事業
兵庫県篠山市「手話言語条例」

社会委員会

◆岡山県倉敷市…倉敷市では、介護保険施設や児童館などで施設利用者との散歩や話し相手、掃除などを、介護予防促進の観点から、40歳以上の市民によるボランティア活動で行い、その実績に応じてたまったポイントを交付金として受け取ることができる。参加者がボランティア活動に取り組むことで、積極的に地域に貢献することを奨励、支援し、社会参加活動を通した参加者自身の健康増進も図られ、実質的に介護保険料の負担軽減にもつながっている。

◆香川県高松市…育児など子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が会員となる組織を設立し、地域で子育て援助活動をすることで、仕事と育児の支援を行う事業。具体的には、保育施設までの送迎や映画鑑賞などのリフレッシュタイムの一時預かりを有償で受ける事が出来る。また、預ける側の不安解消を担保するために、預かる側は「まかせて会員養成講座」の受講（15講座）が義務づけられている。自助、共助、公助のサイクルを活かした事業である。

◆兵庫県篠山市…現在、全国102の都道府県及び市町で成立している手話言語条例を、佐久市においても議員提案による条例成立に向けて、全国で9番目に成立した篠山市を視察した。市民が、手話が言語であることを理解し手話の広がりを実感し、こころ豊かな住みよい篠山市の取り組みを参考にできた。

篠山市の公共施設に置いてある
コミュニケーション支援ボード

秋田県能代市「銀河連邦交流事業」
青森県八戸市「タブレット端末導入」
山形県上山市「サンデー議会」

議会運営委員会

◆秋田県能代市

・**視察目的**…「銀河連邦」を共に構成する自治体として、同市のJAXAとの関わり方や他の連邦都市との交流事業をどう行っているかを視察し、当市のまちづくりの参考とする。

・**所感**…ロケット発射実験場等の地域資源を生かして多方面にわたる様々な事業が工夫されて展開されていた。当市の取り組みの不足を痛感した。

◆青森県八戸市

・**視察目的**…同市議会は、議会改革の一環として2年前から議会活動に「タブレット端末」を導入した先進議会。導入までの経過とシステムの実際を知り、当議会への導入の参考にする。

・**所感**…最新システムなのに2年の準備期間でスムーズに導入されたことがちょっと意外だった。導入の効果は単に紙の削減にとどまらず、事務局の負担軽減など大きなものがあることがわかった。当議会も検討すべき。

◆山形県上山市

・**視察目的**…同市議会では議員の一般質問を日曜日に開催して市民の傍聴をしやすくしている。その状況を視察し、当議会への導入の検討材料とする。

・**所感**…質問時間を短縮するなど工夫して多くの議員の質問を一日で行っている。今年は当日117名の傍聴があったとのこと。課題はあるが当議会でも導入を検討すべきだ。

タブレット端末導入により
ペーパーレス化が進む八戸市議会

議員提案による佐久市手話言語条例を制定しました

条例の趣旨・目的

　手話は日本語などの音声言語と異なり、ろう者が物事を考え会話するときに手指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する独自の体系を持つ言語です。

　佐久市は、手話は言語であるとの認識に基づき、手話に関する基本理念を定め、市の責務と市民及び事業者の役割を明らかにすることにより、総合的かつ計画的に手話に関する施策を推進し、もってすべての市民が共に生きる地域社会の実現に寄与することを目的としています。

佐久市議会での動き

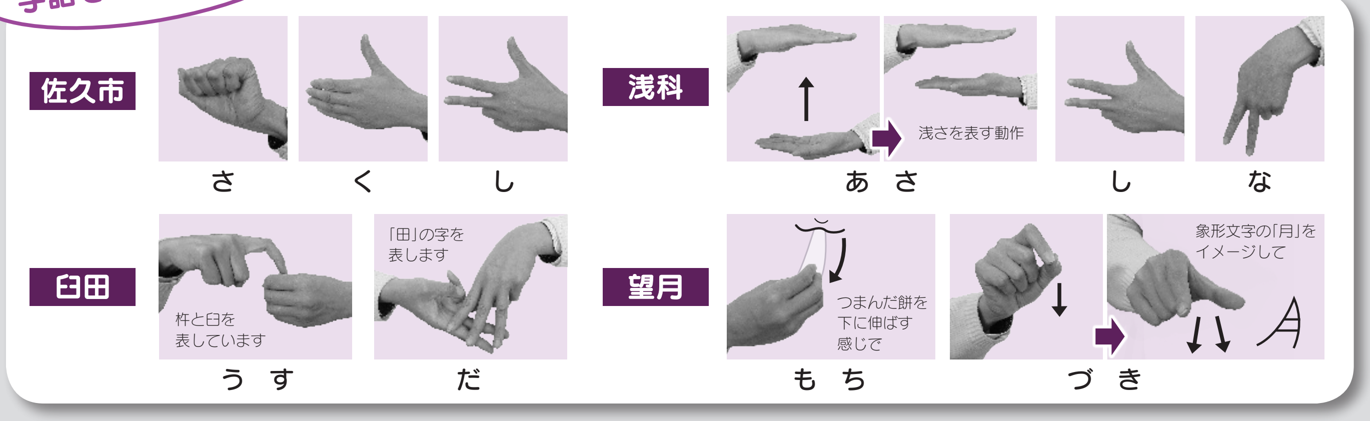
　平成28年８月に「手話言語条例の制定を求める」要望書が社会福祉法人 佐久聴覚障がい者協会より提出され、佐久市議会社会委員会において手話言語条例の制定に向けた研究や、ろう者、手話通訳者、通訳士、要約筆記者、中途失聴者、長野県障がい者支援課、前橋市、篠山市など、多くの関係団体と意見交換を行い、今回の条例案にいたりました。

手話通訳を配置して条例案の提案理由を説明する
社会委員会　三石義文委員長

条例の概要（抜粋）

・市民は、手話に対する関心と理解を深め、市が推進する施策に協力するよう努める
・事業者は、ろう者に対してサービス提供時や雇用する時は、手話に関して配慮するよう努める
・医療機関の開設者は、ろう者が手話をしやすい環境の整備に努める
・市は、災害時において、ろう者に対し、情報の迅速な取得や意思疎通の支援に必要な措置を講ずるよう努める
・市は、聴覚障害者の特性に応じ、手話、要約筆記その他の意思疎通の支援に必要な措置を講ずるよう努める

地域名を手話でやってみよう



議会だより
表紙写真 大募集中!!

佐久市内で撮影した行事や風景など議会だよりの表紙としてふさわしい写真を募集中です。

　年間を通して随時応募を受け付けていますが、各号ごとの審査対象は次の期日までに応募があった写真としています。

- ５月１日発行号 ➡ ３月31日までの受付
- ８月１日発行号 ➡ ６月30日までの受付
- 11月１日発行号 ➡ ９月30日までの受付
- ２月１日発行号 ➡ 12月27日までの受付

詳細は、佐久市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

あなたも議会を傍聴してみませんか

★次の定例会（平成30年３月定例会）の日程（予定）は右欄のとおりです。

★委員会審査も傍聴いただけます。
本会議同様、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会も傍聴いただけます。
ただし、委員会会場の都合上、希望者多数の場合は、開会前に抽選を行いますのでご了承ください。

※ご注意ください
本会議、委員会とも傍聴の際は、携帯電話の電源をお切りください。また、会議の模様を撮影、録音することはできません。

問い合わせ先　佐久市議会事務局
電話　0267－62－3495（直通）

次回定例会のお知らせ
【平成30年３月定例会】開催予定日

日	月	火	水	木	金	土
2/18	19	20	21	22 本会議（開会）	23	24
25	26	27	28	3/1	2	3
4	5	6 本会議（代表質問）	7 本会議（一般質問）	8 本会議（一般質問）	9	10
11	12	13 本会議（議案質疑）	14 委員会	15 委員会	16 委員会	17
18	19	20	21	22 本会議（閉会）	23	24

※日程は、諸事情により変更となる場合があります。

編集後記

「背に負える浅間ガ岳これこそは我らが態度（すがた）」で始まり、「烈風の耐えぬ草原これこそは我らが住む地、連峯の雄姿を仰ぎ、身と心鍛え鍛えて天候と大地を友に、頭をあげて勤勉耐苦」で終わる母校の校歌に数10年ぶりに触れ、豊かな自然にあふれ、勤勉と忍耐強さの風土に改めて感動を覚えた。

　日本が未だ経験したことのない少子高齢・人口減少社会の中、3年前母校も統合が図られ114年の歴史に幕を閉じ、校名校歌も変わった。今日明日では実感がわかない先の社会問題も5年10年単位での変化に対応し将来の街づくりをしなくてはならない。その為の行政視察で先進地に伺い様々な取り組みを見聞した。更に議会報告、意見交換会でいただいた市民の皆様の声も参考に暮らしやすい佐久市を創る為に努めていきたい。常に「大衆とともに語り、大衆とともに戦い、大衆の中に死んでいく」との精神を胸底（むなぞこ）に抱きて。

（小林歳春）

聞かせてあなたの夢

佐久市の小学６年生が夢を語ります　佐久っ子の夢、応援します！

伊坂直稀さん
（岸野小学校６年生）

　祖父がやっている建設会社を継ぐのが、僕の夢です。
　祖父や父は、暑い中で汗を流しながら重機を動かしたり、夜遅くまで塩カルをまいて疲れて帰ってきたのに、次の朝早くから仕事に行ったりしています。その姿がかっこよくて、そういう大人になりたいと思っています。
　父にこのことを話したら、「まず俺と同じ高校や大学に行って建設業を学べ」と言われました。それで、高校に行けるように、苦手な家庭学習も少しずつやるようにしています。また、足腰を鍛えるため、毎朝の学校のマラソンを頑張り、中学に行ったら柔道をやりたいと思っています。
　得意科目は社会と家庭科。特に料理が好きで、休みの日には家でチャーハンを作ったりしています。

議会の主な活動

このコーナーでは、議会が本会議以外でおこなっている主な活動を、写真で報告しています。

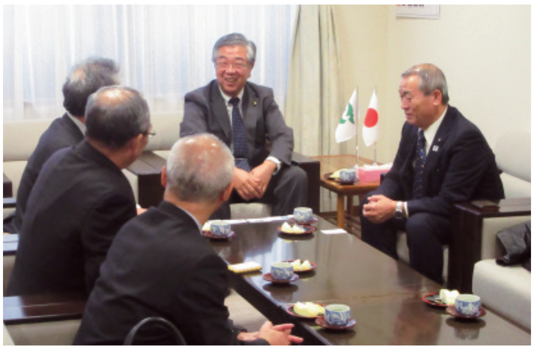
佐久穂町との合同議員研修会開催（10月11日）

　佐久市・佐久穂町議会合同議員研修会を佐久市内で開催しました。今回は、ケイジンの療育コーディネーターである井出敦志氏から「発達障がい者サポーター養成講座」についてご講演いただきました。

子ども交流研修生が表敬訪問

　10月25日にエストニア共和国サク市子ども交流研修生、11月８日にモンゴル国スフバートル区子ども交流研修生が佐久市議会をそれぞれ表敬訪問されました。

友好都市の議長が表敬訪問（11月10日）



　友好都市である岩手県大船渡市の議長、東京都神津島村の議長が、佐久市農業祭にあわせて来市され、佐久市議会をそれぞれ表敬訪問されました。

北佐久郡３町との合同議員研修会開催（11月17日）

　佐久市・軽井沢町・御代田町・立科町議会合同議員研修会を佐久市内で開催しました。今回は、聖学院大学人間福祉学部客員准教授、NPO法人ほっとプラス代表理事の藤田孝典氏から「貧困世代ー若者に広がる貧困と格差ー」と題してご講演いただきました。

発行／佐久市議会　〒385-8501 長野県佐久市中込3056番地 TEL.0267(62)3495(直通) FAX.0267(62)7910(直通)　編集／広報広聴特別委員会

佐久市議会ホームページQRコード

資源保護のため植物油インキ／再生紙を使用しています。